

※經典原文

二、《四分律比丘戒本》(大正22, 1015b2-11):

譬如人毀足, 不堪有所涉[1];毀戒亦如是, 不得生天人。

欲得生天上, 若生人間者, 常當護戒足, 勿令有毀損。

如御[2]入險道, 失轄[3]折軸[4]憂;毀戒亦如是, 死時懷恐懼。

如人自照鏡, 好醜生欣感[5];說戒亦如是, 全毀生憂喜。

如兩陣共戰, 勇怯有進退;說戒亦如是, 淨穢生安畏。

[1] 涉:1.徒步渡水。”4.行走, 跋涉。(《漢語大詞典》(五), p.1197)

[2] 御:1.駕馭車馬。(《漢語大詞典》(三), p.1021)

[3] 轄(ㄊ一ㄣˊ):1.車軸兩頭的金屬鍵, 用以擋住車輪, 不使脫落。(《漢語大詞典》(九), p.1312)

[4] 軸:1.輪軸, 即貫於轂中持輪旋轉的圓柱形長杆。(《漢語大詞典》(九), p.1235)

[5] 感(ㄍ一):1.憂傷。(《漢語大詞典》(七), p.685)